



CLOVER



大阪府教育センター附属高等学校 校長通信 No.4 令和6年7月発行

夏休みがいよいよ始まりますね。先ほどの終業式でもお話しましたが…長い夏休みです。ぜひ、今日のうちに、自分の目標をしっかりと立てて、周りの人に宣言してみましょう。言葉の持つ魔法の力が、きっとみなさんのチャレンジを後押ししてくれるはずです。2学期の始業式の日、「こんなこと頑張ってる！」とうれしそうに話す、みなさんの笑顔を楽しみにしています。

先日、こんなお話を聞く機会がありました。

みなさんは、2023年のWBC決勝戦直前の大谷翔平選手の有名なスピーチを覚えていますか？「僕からは1個だけ。憧れるのをやめましょう。……僕らは今日超えるために、やっぱトップになるために来たので。今日1日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけ考えて行きましょう。さあ行こう！」こういう声掛けのことをペップトーク（監督やキャプテンが選手を激励して試合に送り出すスピーチのこと）というそうです。ペップトークでは、状況のとらえ方を変換して、声掛けをします。例えば、「難しい！」→「やりがいがある！」とか、「この人、細かいな…」→「よく気がつく人だな」という具合です。ものの見方は一つではありません。あっち側から見ると、こっち側から見るとでは、全く違う印象を受けることがあります。「とらえ方変換」は、壁にぶつかったときに、何かのヒントになるかもしれません。

～私の本棚～紹介です。

4月号でご紹介した『兎の眼』に続き、今回も「私の心から決して消えることのない本」を再読しました。

児童書のカテゴリーですが、実は奥深い本です。

「大切なものは目には見えない」 このフレーズを聞いたことがあるかもしれませんね。



～ 私の本棚 ～

本と向き合った時間・記録はあなただけの大切な財産です。

1冊1冊との出逢いを大切にしましょう。

冊数	出逢った日	本のタイトル	著者
4	6/14	星の王子さま	サン＝テグジュペリ
		感じたこと・考えたこと・覚えていたいこと	
		自分の心の在り方次第で、世界の見え方は変わってくる 目には見えないからこそ、余計に大切にしないといけない	